



RISO

株主 通信

平成24年3月期報告書

平成23年4月1日～

平成24年3月31日



株主の皆様へ



代表取締役社長 羽山明

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに平成24年3月期報告書をお届けします。

当期の業績概況

当社は、平成23年3月末をもってオリンパス株式会社との合併事業を終了し、インクジェットプリンターの製造及び開発を当社が単独で行う体制といたしました。これによりインクジェット事業の効率が向上し収益力の強化を図ることができました。

当連結会計年度の業績につきましては、印刷機器事業では国内販売は堅調に推移しましたが、海外で販売が苦戦し為替の影響も受けたため売上高は前年を下回りました。利益面では、インクジェットプリンター本体

第四次中期経営計画 Riso Vision 13 (平成22年4月1日～平成25年3月31日)

中期経営方針	新規顧客の獲得による健全な成長を、経営資源の効果的な活用のもとに実現し、安定した利益体質を構築する		
数値目標	連結売上高:830億円 連結営業利益:25億円	重点項目	(1)インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化 (2)グローバルな商品企画体制・販売企画体制の構築 (3)生産体制・販管費構造のダイナミックな見直し

平成25年3月期経営方針(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

経営方針	インクジェット事業の拡大と孔版事業維持により、増収を実現する		
重点項目	(1)インクジェットプリンターの市場稼働台数の拡大 (2)孔版事業収益の維持 (3)新しいハード生産体制へのスムーズな移行		

を自社生産に切り替えたことにより売上原価は低減しましたが、のれん償却費の発生及び研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加しました。これらの結果、売上高は748億4千7百万円(前期比2.7%減)、営業利益は40億5千万円(同8.1%減)、経常利益は43億9百万円(同12.8%減)、当期純利益は28億8千6百万円(同54.1%減)となりました。

なお、当連結会計年度の期中平均為替レートは、米ドル79.08円(前期比6.64円の円高)、ユーロ108.98円(同4.14円の円高)となりました。

中期経営計画・経営方針

当社グループの主たる事業である印刷機器事業において、インクジェット事業が成長する一方、孔版事業は減収傾向が続いております。インクジェット事業の成長スピードを上げることと孔版事業の維持・回復を目指すことが、当社グループの対処すべき課題ととらえております。また、海外における販売が低迷している中、海外の販路構築と育成を遂行することが急務であると認識しております。

当社グループは、平成25年3月期を最終年度とした第四次中期経営計画(Riso Vision 13)を策定し、印刷機器事業における新規顧客の獲得による健全な成長を重点課題に掲げ、収益力の改善に取り組んでおります。

中期経営計画では、平成25年3月期において連結売

上高830億円を目標としておりましたが、海外での販売が苦戦していることと計画立案当初より為替が円高に推移したことから売上高数値目標の達成は難しい状況となりました。なお、営業利益につきましては、当中期経営計画期間中の3期間とも目標の25億円を達成できる見通しです。

このような状況のもと、第四次中期経営計画の最終年となる平成25年3月期の経営方針は「インクジェット事業の拡大と孔版事業維持により、増収を実現する」こととし、全社をあげて売上高の増加に努めてまいります。

この経営方針に基づき、以下の項目を重点課題として運営してまいります。

- (1) インクジェットプリンターの市場稼働台数の拡大
国内では順調に台数設置が進み、インクの売上が好調に伸びていますが、海外でも販路設定、販売トレーニング強化、販売促進活動の活性化に注力して販売を伸ばしてまいります。国内もさらに新規用途を提案し、新たな市場開拓に努めます。
- (2) 孔版事業収益の維持
エリアごとに既存顧客へのサポートを充実させ、孔版事業の収益減少に歯止めをかけます。重点国で販売網の活性化を進めてまいります。
- (3) 新しいハード生産体制へのスムーズな移行
リソグラフ本体の生産をタイの新工場、中国の新工場にスムーズに移行させ、今期中には海外生産に切り替える予定です。



(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

次期の見通し

円高や海外販売の苦戦により当社グループの売上高は4期連続で減少しています。平成25年3月期はインクジェット事業の拡大と孔版事業の売上維持により増収の実現を目指します。通期の売上高は758億円(前期比1.3%増)を見込んでいます。利益面では、海外販売強化のため販売促進費が増加すること、新製品開発のための研究開発費が増加することから営業利益は27億5千万円(同32.1%減)、経常利益は28億円(同35.0%減)、当期純利益は30億円(同3.9%増)を見込んでいます。

なお、業績見通しにおける為替レートは、米ドル82円、ユーロ107円を前提としております。

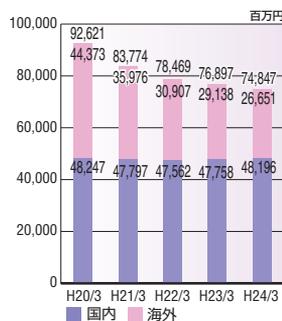
当期の期末配当は、当初予想のとおり1株につき40円とさせていただきます。当社グループは、今後とも理想科学ならではの製品・サービスを提供し市場拡大に努める所存です。今後とも株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

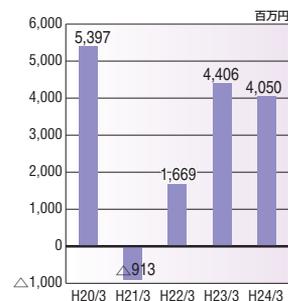
代表取締役社長
羽山 明

● 連結業績ハイライト

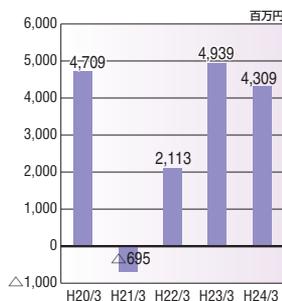
売上高



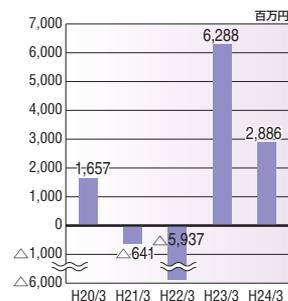
営業利益・損失



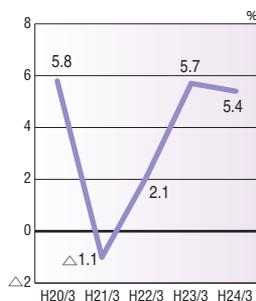
経常利益・損失



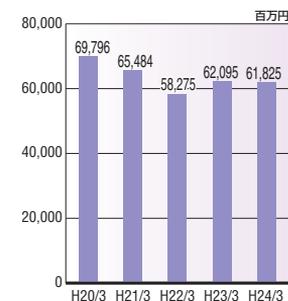
当期純利益・損失



売上高営業利益率



純資産





財務諸表の概要 (連結)

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

● 損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
売上高	76,897	74,847
印刷機器事業	75,191	73,149
日本	46,082	46,572
米州	6,747	5,177
欧州	13,203	12,390
アジア	9,157	9,008
不動産その他事業	1,705	1,698
売上原価	38,273	34,259
売上総利益	38,624	40,588
販売費及び一般管理費	34,217	36,538
営業利益	4,406	4,050
営業外収益	951	545
営業外費用	418	286
経常利益	4,939	4,309
特別利益	1,328	417
特別損失	194	447
税金等調整前当期純利益	6,073	4,280
法人税等	△ 214	1,393
当期純利益	6,288	2,886

POINT① 売上高

前期に比べ売上が20億円減少しました。このうち14億円が円高による為替影響でした。

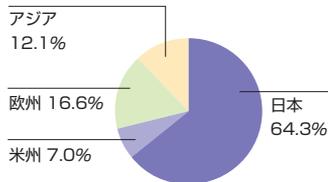
POINT② 売上原価・売上総利益

インクジェットプリンター本体を自社生産に切り替えたことにより売上原価が減少し、売上総利益が増加しました。

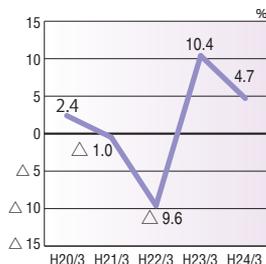
POINT③ 販売費及び一般管理費

インクジェット事業買収によって、のれん償却費及び研究開発費が増加しました。

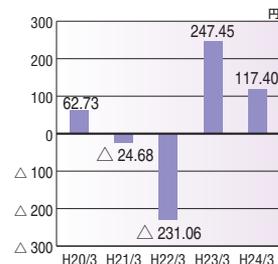
地域別売上高比率



自己資本当期純利益率



一株当たり当期純利益・損失





財務諸表の概要 (連結)

● 貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成23年3月31日	平成24年3月31日
●流動資産	49,263	50,707
現金及び預金	13,780	13,377
受取手形及び売掛金	13,881	14,240
有価証券	4,096	8,731
●たな卸資産	12,933	11,393
その他	5,056	3,241
貸倒引当金	△ 485	△ 275
固定資産	40,591	38,989
有形固定資産	28,442	27,540
建物及び構築物	6,369	6,129
機械装置及び運搬具	937	921
土地	17,139	16,943
その他	3,995	3,546
無形固定資産	7,315	6,709
のれん	2,633	2,009
ソフトウェア	1,552	2,303
その他	3,129	2,397
投資その他の資産	4,833	4,740
投資有価証券	1,572	1,463
その他	3,388	3,381
貸倒引当金	△ 126	△ 104
資産合計	89,854	89,697

(注) 当期の有形固定資産の減価償却累計額 41,062百万円

POINT④ たな卸資産

インクジェット事業買収に伴いインクジェットプリンターを自社生産に切り替えたことにより、たな卸資産が減少しました。

(負債の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成23年3月31日	平成24年3月31日
●流動負債	22,267	22,676
支払手形及び買掛金	12,366	11,197
短期借入金	2,160	2,227
一年内返済予定の長期借入金	3	2
その他	7,736	9,249
固定負債	5,492	5,195
長期借入金	53	38
退職給付引当金	3,597	3,691
その他	1,841	1,465
負債合計	27,759	27,872

(純資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成23年3月31日	平成24年3月31日
株主資本	64,633	64,757
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	36,249	37,874
●自己株式	△ 511	△ 2,011
その他の包括利益累計額	△ 2,538	△ 2,932
その他有価証券評価差額金	△ 21	△ 107
為替換算調整勘定	△ 2,516	△ 2,825
純資産合計	62,095	61,825
負債純資産合計	89,854	89,697

POINT⑤ 流動資産・流動負債

期末日が休業日であったことにより、増加しています。

POINT⑥ 自己株式

当期は108万1千株(14億9千9百万円)の自己株式を取得しました。

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,362	8,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,006	△ 2,212
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,622	△ 2,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 512	△ 113
現金及び現金同等物の増減額	△ 780	3,846
現金及び現金同等物の期首残高	17,910	17,130
現金及び現金同等物の期末残高	17,130	20,976

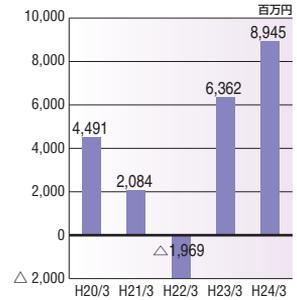
POINT ⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

期末日が休業日であったことにより、増加しています。

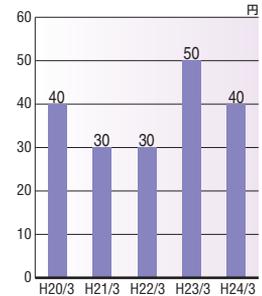
POINT ⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に自己株式の取得と配当金の支払いによるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー



一株当たり配当金



さらに詳しい情報に関してはこちらへ <http://www.riso.co.jp/ir/>



インクジェット事業の海外販売力強化と 商品特性を活かした新たな用途提案で 新規市場の獲得を目指す

今期は第四次中期経営計画「Riso Vision 13」の最終年度となります。
2年目の実績や今後の方針などについて社長の羽山明がご説明いたします。

インクジェット事業の 確立に取り組む

平成24年3月期の国内事業は、孔版事業の売上が減少しましたが、インクジェット事業が好調に推移し、前年に比べ1.1%の増収となりました。

海外事業は、為替の影響と販売苦戦で売上が減少しました。米州ではインクジェット事業、孔版事業ともに売上が減少しました。欧州はインクジェット事業が堅調に推移しましたが孔版事業の販売不振で減収となりました。これらの結果、事業全体では前年に比べ2.7%の減収となりました。

当期は、インクジェット事業を当社の単独事業として確立させることに取り組み、昨年8月から自社の筑波工場で生産を開始しています。これにより、プリンター本

体の原価低減が実現し売上総利益が増加しています。

なお、昨年の中日本大震災が当社業績に与えた影響は軽微でした。震災後は、お客様への印刷機のサプライ及びハードウェアの継続供給を最優先課題とし、原材料の代替品採用などの対策を講じた結果、お客様への安定供給を維持することができました。



高速カラープリンター「ORPHIS X9050」

今期は1.3%の増収を見込む

平成25年3月期の業績予想については、前年に比べ1.3%の増収を見込んでいます。特に海外事業においては販売網の増強を図り売上を拡大していく考えです。このため販売管理費が増加し今期の営業利益は減益になりますが、将来の収益力強化のための投資と捉えています。

今期が最終年度となる中期経営計画「Riso Vision 13」については、海外で販売が苦戦し減収となったことに加え計画立案時に比べ為替が円高に推移していることから、当初目標の売上高830億円を達成することは難しいと考えています。

タイ子会社がリソグラフの本格生産へ

製品別の事業展開では、インクジェット事業の海外販売力を強化し、ハードウェアの市場稼働台数を拡大させることに注力します。ハードウェアの設置を推し進めることで、サプライ販売を伸長させるという基本的な戦略を継続してまいります。

国内のインクジェット事業においては、商品特性を活かした新たな用途提案により、新規市場を獲得していきます。同時に、エリアごとのマーケティングを的確に行い、販売ターゲットを明確にして効果的な販売促進活動を展開していきます。

孔版事業は、海外事業展開の重点国を絞り、ハードウェアの拡販を進めて収益の維持を図っていく考えです。

また、生産体制のグローバル化も推進します。昨年6月、タイ・アユタヤ県に生産子会社「RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.」を設立し、今年4月からデジタル印刷機「リソグラフ」の生産を開始しています。



代表取締役社長 羽山明



この夏には本格的な生産ができる見込みであり、今期中にリソグラフのハードウェア生産を中国とタイにシフトさせる方針です。

研究開発棟の新設で 開発効率のアップを

インクジェットプリンターの新しい需要を掘り起こしていくためには、積極的な販売戦略を推進するだけでなく、新製品開発のスピードアップが不可欠です。

そのため、現在4カ所に分散している開発拠点を統合し、茨城県つくば市に「つくば研究学園事業所(仮称)」(地上7階建)を新設します。平成20年に建設用地を取得していますが、経済環境の変化や東日本大震災の影響で着工を延期していたものです。平成25年5月末の竣工を予定しています。

研究開発棟の新設により、開発部門内及び東京の本社部門・営業部門との連携を強化し、開発効率を向上させ、新しいニーズを掘り起こす夢のある新製品を次々に発売してまいります。

15億円の自己株式取得を実施

株主の皆様に対する利益還元につきましては、企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としています。

この基本方針に基づき、当社は期末配当による年1回の剰余金の配当を行い、安定配当の継続に努力しております。また、自己株式の取得も利益還元の一つと考えており、株価水準や市場の動向を考慮しながら実施する方針です。自己株式については、平成23年8月から9月の間に15億円の自己株式取得を行いました。

なお、当期の期末配当は1株につき40円とさせていただきますが、次期の配当金につきましては、ここ数年業績がある程度安定してきたことから1株につき50円とする予定です。

株主の皆様には、今後とも温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「つくば研究学園事業所(仮称)」(完成予想図)



創業者 羽山 昇を偲んで

～開発への情熱を持ち続けて～

当社創業者羽山 昇が、平成24年3月13日に逝去しました。羽山は「世界に類のないものを創る」を開発ポリシーに掲げ、長きにわたり当社の事業発展に尽力しました。その足跡の一端をご紹介します。



社名に掲げた「理想」を目指して

昭和21年に設立した謄写印刷を業とする「理想社」。これが理想科学工業の草創です。戦後の混乱期、皆が食べることだけに汲々としていた時代の創業でした。「日本がどうなってしまうかわからない、だからこそ人は理想を失ってはいけない。どんな時でも理想を貫いていこう」羽山はそう決心し、「理想」を社名に冠してスタートしたのです。

日本初のエマルジョンインクの誕生

昭和29年には、日本初のエマルジョンインク「RISOインク」を開発・発売しました。当時、印刷に使用するインクは輸入品に頼らざるを得ず、安定的に調達する必要性を強く感じた羽山は、昭和27年に研究部を設けてインクの研究を開始。



RISOインク

約1年半に及ぶ試行錯誤の末、日本初のエマルジョンインク「RISOインク」が完成しました。これにより当社は謄写印刷業から印刷機材メーカーへの第一歩を踏み出しました。

開発の原点だった“親子で印刷ゴッコ”

「親子が家庭で楽しめる印刷機ができないものか。きっとすばらしいコミュニケーション・ツールになるに違いない」—羽山の思いが、「プリントゴッコ」に結実しました。昭和52年に発売を開始した「プリントゴッコ」は、その直後から驚異的な売れ行きを示し、年の暮れの風物詩になりました。また、羽山は「私たちは、「〇〇ゴッコ遊び」を通してルールや知識を学ぶことができました。ゴッコはいわば知育の源泉なのです」と、「プリントゴッコ」というネーミングにもこだわりました。



プリントゴッコB6

孔版の新しい世界を拓く「リソグラフ」誕生

昭和55年、独自の“新孔版”技術によるまったく新しいプリンティング・システム「リソグラフ」を開発、発売しました。それまでの孔版印刷は、手が汚れ、時間がかかる、不鮮明な仕上がりと“たそがれの産業”とされていました。このようななかで羽山は「汚れるのなら、汚れないようにすればいい。カンタンに、スピーディーに、鮮明に……必ずできる」と、ひとつ一つ難問を解決し製品化を実現しました。



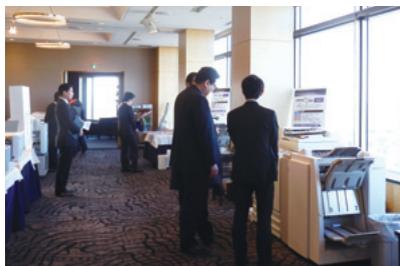
リソグラフ FX7200(左)
AP7200(右)



自社展示会「RISOフェア」を 全国で開催

当社は平成24年1月～3月にかけて、自社による展示会「RISOフェア」を全国43カ所で開催しました。会場では高速カラープリンター「オルフィスシリーズ」とデジタル印刷機「リソグラフシリーズ」などを一堂に展示し、様々なシーンで役立つ活用方法をご提案しました。どの会場でも多くのお客様にご来場いただき、盛況となりました。

今後とも、より最適なプリントソリューションをお客様へ提案してまいります。



東京・渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで開催した「RISOフェア」の様子

筑波工場の操業30周年を記念した 感謝の集いを開催

当社の筑波工場（茨城県）は平成23年10月に、操業30周年を迎えました。これを記念し、同年10月14日に主要取引先を招き、「筑波工場30周年記念感謝の集い」を開催しました。

筑波工場は、昭和56年、リソグラフの初期モデルAP7200の生産拡大を機に操業を開始しました。平成23年8月よりオルフィスの生産も開始し、会社全体の生産の発展、安定操業に重要な役割を果たしています。



「筑波工場30周年記念感謝の集い」の様子(平成23年10月)

RISOホームページをリニューアル

当社は平成23年11月に自社ホームページをリニューアルし、デザイン、構成を一新しました。今回のリニューアルは来訪者の利便性を向上させ、わかりやすいサイトにするを目的としました。初めて来訪した人に当社の概要を短時間で理解してもらえるよう、新コンテンツとして「かんたん会社案内」を掲載しました。さらに、オルフィスをご利用いただいているお客様の声をまとめた、「導入事例紹介」の充実を図りました。

今後多くの方にご満足いただけるサイト作りを目指します。

ホームページアドレスはこちら▶ <http://www.riso.co.jp/>



リニューアルした当社ホームページのトップ画面

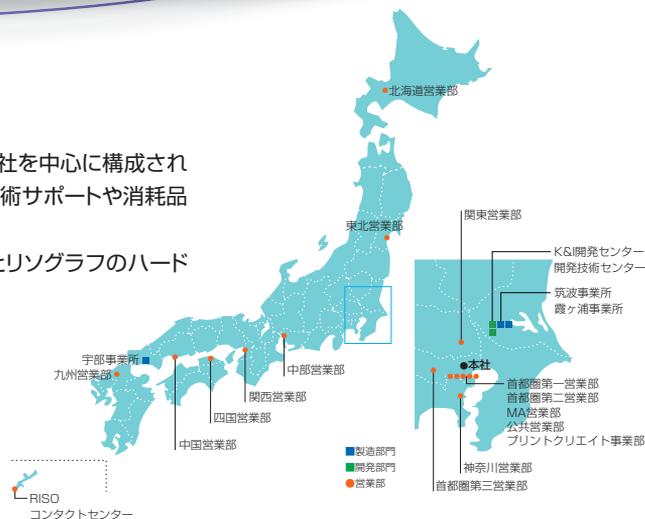


国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はオルフィスとリソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場はリソグラフのインク・マスターとオルフィスのインクを生産しています。宇部工場はリソグラフのインク・マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門はK&I開発センターと開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



海外

当社は22の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。

●海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA, INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO Do Brasil, Ltda.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.
- RISOGRAPH ITALIA S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業(香港)有限公司
- 理想(中国)科学工業有限公司
- 理想(上海)国際貿易有限公司
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.

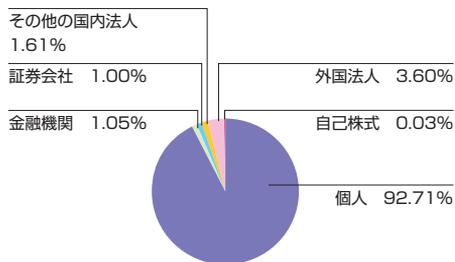




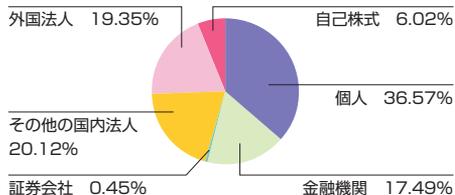
株式の状況 (平成24年3月31日現在)

● 発行可能株式総数	67,840,000株 <small>(前期末比 増減なし)</small>
● 発行済株式の総数	25,703,166株 <small>(前期末比 増減なし)</small>
● 株主数	3,415名 <small>(前期末比115名 増加)</small>

● 株主数比率



● 株式数比率



● 大株主一覧(上位10人)	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	2,470	9.61
理想科学工業株式会社	1,546	6.02
公益財団法人理想教育財団	1,330	5.18
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)	1,293	5.03
サブ アカウント アメリカン クライアント		
理想科学工業従業員持株会	1,010	3.93
ザ シルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル	826	3.21
バリュー エクイティー トラスト		
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ユーエス タックス	813	3.16
エグゼンプテド ペンション ファンズ		
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 東京都民銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	783	3.05
羽山 昇	751	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	743	2.89

(注) シルチェスター・パートナーズ・リミテッド(旧名称:シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッド)及びその共同保有者であるシルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピーから平成22年11月8日付で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付を受けましたが、当社として当期末日現在における実質所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。
なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
シルチェスター・パートナーズ・リミテッド	0
シルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピー	3,067

● 自己株式の取得について

当期中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	1,081,000株
取得価格	1,499百万円



会社概要

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒108-8385
東京都港区芝五丁目34番7号
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,985,384円
(平成24年3月31日現在)
- 従業員数 1,736名(グループ全体 3,237名)
(平成24年3月31日現在)
- 連結子会社 24社(国内2社 海外22社)
(平成24年3月31日現在)
- 役員

代表取締役社長	羽山 明
常務取締役	高橋 靖宏
常務取締役	国谷多可史
取締役	遠藤喜八郎
取締役	阿部 和男
取締役	藤岡 秀則
取締役	高橋 康信
取締役	上田 雅弘
取締役	橋本総一郎
取締役	成宮 慶臣
取締役	氏家 直樹
取締役	奥 総一郎*
常勤監査役	山本 邦明
常勤監査役	山本研二郎
監査役	飯塚 良成*
監査役	八田 進二*

(平成24年6月26日現在)

(注) *印は会社法第2条第15号及び第16号に定める社外取締役及び社外監査役です。

● 今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、また、従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

理想科学に関する様々な情報は ホームページでご覧になれます。

当社ホームページは、製品・サービスや採用のほか、会社情報や環境への取り組みなど多くの情報を発信しています。「株主・投資家情報」では、財務やIRに関連するニュースやデータをはじめ、決算短信や有価証券報告書、内部統制、コーポレートガバナンス、株式手続きなど様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

- ホームページ
<http://www.riso.co.jp/>



● 株主・投資家情報
<http://www.riso.co.jp/ir/>

● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社の の全国各支店で行っております。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

● 株主名簿管理人の名称変更のお知らせ

平成24年4月1日、中央三井信託銀行株式会社、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社が合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となりました。これに伴い、当社の株主名簿管理人の名称が「三井住友信託銀行株式会社」と変更になりましたのでご注意ください。なお、郵便物送付先(電話照会先)の住所・電話番号は変更ありません。

● 株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社にないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本株／〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

証券コード 6413



本株主通信は、環境にやさしい大豆インキと、FSC®認証紙を使用しております。